

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こばんはうすくら 新川崎教室 保護者等数(児童数) 28 回収数 23 割合 82.1%

|          | チェック項目  | 評価 |         |     |       | ご意見   | ご意見を踏まえた対応  |
|----------|---|----|---------|-----|-------|---|---|
|          |   | はい | どちらかいない | いいえ | わからない |   |   |
| 環境・体制整備  | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか  | 16 | 3       | 1   | 3     | ・活動中の写真を配信してもらっているが、普段の様子は見られないので。  |   |
|          | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか   | 19 |         |     | 4     | 来所する機会がほほないのでよくわかりません。  |   |
|          | 3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか  | 18 |         |     | 5     | 来所する機会がほほないのでよくわかりません。  |   |
|          | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか  | 17 | 2       |     | 4     | ・来所する機会がほほないのでよくわかりません。<br>・建物も古いので仕方ないと思いますが、臭いが少し気になります。<br>・ビルの入口から玄関口までが少し暗くて、お借りしている上、難しいが少し明るい雰囲気にしたらもっと良いと思った。なっているとおもわれる。   | ・消臭剤の導入<br>・賃貸なので、新たな照明は設置できない。取付はずしが簡易な人感センサーライトの導入。 |
| 適切な支援の提供 | 5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか  | 21 | 1       |     | 1     |   |   |
|          | 6 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 20 | 2       |     | 1     |   |   |
|          | 7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | 19 | 1       |     | 3     |   |   |
|          | 8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか  | 17 | 3       |     | 3     | ・毎回本人が楽しみ、飽きのこないプログラム活動で楽しめていると思う。できれば天気の良い日ほかでの活動(散歩、散歩公園)を取り入れてほしい。   | プログラム会議を開き、参加者の意見を広く取り入れている                           |
|          | 9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか  | 6  | 2       | 5   | 10    | 夏のお祭り楽しかったです！   |   |
| 保護者への説明等 | 10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか   | 22 | 1       |     |       |   |   |
|          | 11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか   | 21 | 1       |     | 1     |   |   |
|          | 12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)が行われているか   | 5  | 6       | 6   | 6     | ・親が学べる機会などがあると嬉しいです。  | アンケートを事前に取り、保護者の方のニーズを知る。                             |
|          | 13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか  | 20 | 1       |     | 2     | ・LINEを活用させていただき、本人の様子を伝えたり、HUGでその日の状況を丁寧にお知らせいただけており、以前の書面でのやり取りよりスムーズに感じている。   | 今後も迅速に保護者の方と情報共有を促めたい                                 |
|          | 14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか   | 20 | 1       | 1   | 1     | ・LINEなどでいつでも相談することは出来ますが、もう少し面談の機会があると嬉しいです。  | 今後は、対面形式の面談も積極的に取り入れます。                               |
|          | 15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか  | 4  | 3       | 11  | 5     | ・コロナが落ち着いたので、開催を希望します。<br>・他のお母さん方と交流できる場があるといいなと思います。  | 今年から開催をしたい。   |
|          | 16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか  | 21 | 1       |     | 1     |   |   |
|          | 17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか  | 23 |         |     |       |   |   |
|          | 18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか   | 22 |         |     | 1     | ・ホームページや写真を適宜送っていただけるのはありがたいです。いつもありがとうございます。   | 今後も続けたい、特にSNSを利用した更なる情報共有を模索します。                      |
| 非常時等の対応  | 19 個人情報の取扱いに十分注意されているか  | 23 |         |     |       |   |   |
|          | 20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか   | 18 |         |     | 5     |   |   |
|          | 21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか  | 12 | 2       |     | 9     |   |   |
| 満足度      | 22 子どもは通所を楽しみにしているか   | 22 | 1       |     |       | ・うちの子が好きなキャラクターをいつも書いてくださったり、折り紙で作ってくださりありがとうございます。<br>・とっても楽しく通わせていただき本当に感謝しています。<br>・数か月前から利用しているが、毎回本当に楽しみにしている。密に子供に関わってくださっていると感じる。学校と幼稚園送迎が難しい中、自宅まで学校まで直接送迎して下さるのはありがたいですが、送迎車に乗ってる時間を減らすために、早めに親に送迎到着時間を伝えて待ち時間を減らし、療育の時間にあてるようにして欲しいなと感じます。<br>・とても楽しみに通学していると思います<br>・季節の行事や集団での活動など集団療育ならではの良さがあり、子供も楽しんで通っています。 | ご期待に沿えるよう、今後もがんばります。                                  |
|          | 23 事業所の支援に満足しているか   | 23 |         |     |       | こばんさんで色々な事を学ばせていただいているおかげで、日々成長をしていることを感じています。手厚いサポートに感謝しております！   |   |

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こばんはうすくら ○○教室

|   | チェック項目  | はい | いいえ | 工夫している点   | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標  |
|---|---|----|-----|---|---|
| 環境・体制整備   | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である   | 11 | 3   |   |   |
|   | 2 職員の配置数は適切であるか   | 10 | 4   |   | ・職員の急な欠勤時の人員確保を可能な限りすべき   |
|   | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている  | 10 | 3   | ・持ち物を名札付きの袋に入れて他児童の物と分けている  | ・子ども一人一人に合った環境づくりを考えた。(鍵の開け閉めの音など)<br>・床面を広く使うために柵数が増やせると良いと思う  |
|   | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている  | 10 | 4   | ・構になる子が多いと思い、まず子供たちが来るまでに清掃が終わるよう優先している                           | ・感覚過敏の子どもは集団の中でもどうしても大きな音が嫌な場面がある・視覚に活動とは関係のないものが入ることを減らしたいです。  |
| 業務改善  | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している   | 10 | 2   | ・ゴミ箱にシールを貼り分別している<br>・共有LINEなどで情報を共有しやすくしている                      | ・振り返りがもつとできると良いと思う  |
|   | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている   | 10 |     | ・送迎時、少しでもお話をするようにしている   |   |
|   | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している                                    | 8  | 1   | ・ブログで月に1回は教室の様子をあげている   | ・ホームページまではっていない   |
|   | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている  | 7  | 3   |   |   |
|   | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している   | 12 | 1   |   | ・強度行動障害などきめ細やかな対応を求められることなどに詳しい研修があると嬉しい  |
| 適切な支援の提供  | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している   | 13 |     |   |   |
|   | 11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している   | 9  |     |   |   |
|   | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 8  |     |   |   |
|   | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている  | 13 | 1   | ・共有LINEに更新されるので分かりやすくなった  |   |
|   | 14 活動プログラムの立案をチームで行っている   | 11 | 1   | ・プログラムミーティングを月に一回行っている  |   |
|   | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している   | 11 | 1   | ・工作、運動、SSTなど担当を決めてバランスよく計画している                                    |   |
|   | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している   | 10 | 2   |   | ・個人に寄り添ったプログラムを取り入れたい   |
|   | 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している   | 11 | 1   | ・月に一回ミーティングを行い、その場で共有している<br>・毎回必ず打ち合わせがあるわけではないが、必要に応じて確認していると思う | ・打ち合わせ時間を確保するシステム作り<br>・プログラム内容が事前に分かること助かる   |
|   | 18 支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している   | 6  | 6   | ・日報特記事項に記載している・必ずではないが、種別に応じた情報共有している                             | ・共有できていない部分も多い。<br>・送迎が遅くなると全員ではできない<br>・振り返り時間がない、メモ書きなどでも良いから記入しておくなど<br>・社員だけでなく、パートも含めた打ち合わせや共有を増やしていきたい。 |
|   | 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている   | 11 | 1   |   | ・徹底できていない<br>・日報に記入できる時間の確保が難しい   |
| 関係機関や保護者との連携  | 20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している  | 10 | 1   |   |   |
|   | 21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している  | 10 |     |   |   |
|   | 22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている  | 10 |     |   |   |
|   | 23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている  | 9  |     |   | ・重心障なし  |
|   | 24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている  | 7  | 1   | ・保護者から主治医の話を聞き、支援をすることがある   |   |
|   | 25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている  | 10 | 1   |   |   |
|   | 26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている  | 10 | 1   |   |   |
|   | 27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている   | 8  | 1   | ・地域の児童発達支援事業所と月に一回定例会議を行っている                                      |   |
|   | 28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある  | 3  | 10  | ・公園に偶然居合わせた幼稚園の子どもと仲良く遊べるよう努めている                                  | ・決まった予定でそこまでできていない  |
|   | 29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している  | 4  | 6   |   | ・決まった予定でそこまでできていない  |
|   | 30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている   | 14 |     | ・送迎時などに伝えている  |   |
| 31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 10  | 1  |     |   |   |

|            |    |  |    |   |                                 |  |
|------------|----|--|----|---|---------------------------------|--|
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている   | 10 |   | ・契約時に説明している                     |  |
|            | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 11 |   |                                 |  |
|            | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている  | 12 |   |                                 |  |
|            | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している   | 5  | 6 | ・夏祭りは保護者も参加できたので、多少交流はできたかもしれない | ・個人情報優先か、交流優先か難しい判断だと思う・保護者会の開催を企画していきたい |
|            | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している                           | 12 |   | ・共有LINEにて情報を共有している              |  |
| 非常時等の対応    | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している   | 12 |   |                                 |  |
|            | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している  | 12 |   |                                 |  |
|            | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている  | 12 |   | ・カードやホワイトボードを使う等個人に合った対応を考えている  |  |
|            | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている   | 6  | 3 |                                 | 地域のイベントや住民の方とかかわる時間を増やしたい                |
|            | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している                                  | 10 | 3 | ・避難訓練はしている                      | ・玄関以外の避難経路、方法が周知されていると安心できる(階段が火事の場合だと)  |
|            | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている   | 8  | 4 |                                 |  |
|            | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している  | 9  | 1 |                                 |  |
|            | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている   | 11 |   |                                 |  |
| 非常時等の対応    | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している  | 14 |   |                                 |  |
|            | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | 12 | 1 |                                 |  |
|            | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している                           | 8  | 2 |                                 |  |